① タイ・チュラロンコン大学一行が 本センターを視察 (8月5日・火)

タイ・Chulalongkorn UniversityからAthapol Anunthavorasakul教授とスタッフ3名が来訪した。Athapol教授は、9年前、本学の教員研修留学生として環境教育実践研究センターに、1年間在籍した。東日本大震災後の教育の復興状況やタイの洪水など防災・復興の情報交換を行った。また、来年3月に仙台にて開催の第3回国連防災世界会議に向けて、タイ王国やユネスコなどの貴重な情報を得た。



② 第3回国連防災世界会議半年前フォーラム(8月31日・日)

仙台市が主催となり、「復興・防災の活動とまちづくり〜伝える防災 感じる防災〜」と題した半年前フォーラムが開催され、本学から職員1名とボランティア活動に積極的に関わってきた学生2名が参加した。地域で活動する若者たちがテーブルを囲んでの討論、参加者を交えてのワークショップが行われ、日々の暮らしのなかで防災を意識し、蓄積された知恵を伝える、ボランティア活動を楽しさに変え、繋がりを忘れないなどが話し合われた。









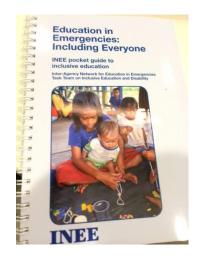


21号

③ 災害後・紛争後の教育分野での国際緊急人道支援 ネットワーク調査(8月23日~)

INEE(緊急時の教育のための機関間ネットワーク)ニューヨークオフィスなどを小田特任准教授が訪問し、関係者への聞き取り調査を行った。INEEは緊急時の教育のための最低基準(教育ミニマムスタンダード:準備・対応・復興)などを刊行し、全世界でネットワークを展開、研修や学術誌の刊行等を行っている。これまでは紛争後の緊急人道支援を扱ったものが主だったが、今後は災害後の教育へも注力するとのことだった。今後、東日本大震災での経験と教訓を、こうしたネットワークのコンテンツにフィードすることが重要だと考える。







④ 日本安全教育学会 第15回宮城大会(9月13日・土~14日・日)

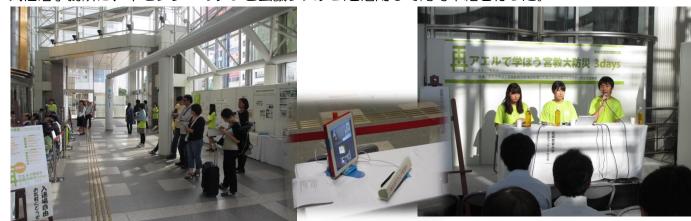
東北工業大学にて開催された標記学会「東北から発信する学校防災教育と学校安全〜実践上の課題を乗り越えるために」に小田特任准教授が、実行委員として関わった。また、「教員養成大学におけるサービスラーニングとしての防災・復興教育」の学術発表を行った。





⑤ 再(また)アエルで学ぼう宮教大防災3days(9月19日・金~21日・日)

AER(アエル)アトリウム2階にて標記公開集中講座を開催した。この企画は本学が文部科学省より委託された社会教育としての、「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」の一環で昨年に引き続き実施した。本学の教員による講座に交ざって、学生による【学習支援ボランティア活動の報告】と【被災地視察訪問の報告】もあった。初日(19日)は教育復興支援センター事務室や、気仙沼事務所に、本センターのテレビ会議システムを活用して同時中継を行った。



⑥ 日本国際協力センター「北米地域との青少年交流」事業一行来訪(10月16日・木)

JICEの "KAKEHASHI Project-The Bridge for Tomorrow-"から引率者を含めた21名の米国 青少年が本学の学生たちと交流した。大学紹介、日本文化紹介、萩朋会館での昼食後、仙台市近郊の東日本大震災被災地視察を行った。被災地視察では、教育復興支援センター・ボランティア協力員 "被災地視察担当"の学生が英語で案内役を務め、同世代の学生との相互理解と交流の促進を図った。





⑦ 第12回出張復興カフェ in Miyakyo (10月19日・日)

本学では文部科学省と共催で、来年3月開催の国連防災世界会議において、"学生による被災地視察研修"を実施する予定である。今回の「出張復興カフェ in Miyakyo」では、被災地視察研修の候補地である、国重要指定文化財"洞口家住宅"において、仙台いぐね研究会の協力をいただき、教職員や学生たちの事前視察研修を実施した。





⑧ 大学祭・教育復興支援センター企画「復興と教育」(10月25日・土~26日・日)

今年の大学祭では、映画 "Stories From Tohoku"「日系アメリカ人と震災」を上映(ダイアン・フカミ監督からメッセージビデオもあり)、国際理解教育研究センター・研究協力員の金子奈奈さんから「日系アメリカ人から見た震災」をお話し頂いた。翌日は学校現場の先生(南三陸町立志津川中学校・菊田浩文先生、仙台市立長町小学校・武田芳典先生)お二人に基調講話をいただき、「子どもに震災を伝える」というテーマで意見交換会を行った。





⑨ JICA教員研修(10月31日・金~11月2日・日)

JICA教員研修生(7カ国12名)が昨年に引き続き陸前高田市を視察し、米崎小学校仮設住宅・自治会長・佐藤一男氏からご講話をいただいた。2日には、横田川の駅で祭りに参加、戸羽市長に面談した。また、長い巻き寿司づくりにも挑戦し祭りを楽しんだ。米崎小学校仮設住宅では、地域住民たちと、さんまの炭火焼きを食し、研修生たちのお国自慢の料理を振る舞って、世界地図や地球儀を回しながら歓談した。



⑩ iPad講習会(11月5日 · 水)

来年3月開催の国連防災世界会議用に向けて、教育復興支援センターの活動を紹介する動画作成のための【iPad講習会】を開催した。参加者たちは、本センター貸出用のiPadを活用して、写真撮影を行い、プレゼン用に加工した。今後、3月の会議に向けて講習会を数回開催し、完成した動画を、せんだいメディアテークやフォーラム会場にて上映予定である。

<u>※本センターでは、学生に対して学習支援ボランティア</u>活動用に"iPad"の貸出を行っている。



⑪ 第13回復興カフェ in Miyakyo(11月13日・木)

附属図書館展示フォールにて、第13回復興力フェ in Miyakyo を開催した。今回は、8月に起こった「大規模な広島土砂災害」の現地調査の様子を、当センター瀬尾和大副センター長に報告頂いた。(発表資料は、センター・2F廊下に掲示)今後の復興力フェは、【福島いわき市】と、JICA教員研修で訪れた【岩手県陸前高田市】の震災復興状況について、報告する予定である。(12月と1月)





東北大学災害科学国際研究所 (26年11月竣工)から見た宮城教育大学

